

報道関係者各位

2020年5月29日

## 第三者上空飛行のための無人航空機の性能評価手順書を 経済産業省とNEDOが公表 —福島ロボットテストフィールドにおける試験で活用可能—

この度、経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が、ドローンなどの無人航空機による第三者上空での目視外飛行の実現に向け、「無人航空機性能評価手順書」（以下、「手順書」という。）を公表しました。

本手順書は、無人航空機が目視外・第三者上空飛行を行うための安全性・信頼性の性能評価基準を設け、試験方法、試験施設・設備・機器を取りまとめたもので、無人航空機の性能を統一的に評価することが可能となります。福島ロボットテストフィールド（以下、「RTF」という。）では、関連する試験施設が整備されており、本手順書に基づく評価試験等が実施可能です。

今後、RTFでは、福島県、及びRTFが立地する南相馬市、浪江町と連携し、RTF及びRTF周辺の飛行空域において、本手順書に基づく実証試験を積極的に支援することにより、無人航空機の安全な利活用のための技術開発と環境整備に協力し、無人航空機が活躍する便利で明るい社会の実現に貢献します。

（※別添の経済産業省、およびNEDOのプレスリリースをご参照ください。）

<福島ロボットテストフィールドに関するお問い合わせ先>

（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構  
福島ロボットテストフィールド 技術部長 安達（あだち）  
TEL：0244-25-2478 FAX：0244-25-2479 MAIL：robot3@fipo.or.jp